

扇小は、給食利用率が極めて高い。出席者	子もいる。職員も同じである。	し、宅配で学校に食事を届けてもらっている	べる子もいる。お弁当を持ってくる子もいる	いるし、学区に二店ある「こども食堂」で食	な時間である。帰宅して家で食事をする子も	昼食の時間は、児童も職員も基本的に自由	・販売	・検食	・予約	・持帰	・来校	・配達	・職員	・児童	出ている。	という文字が映し出されていった。その内訳も	校長室の壁面には、「本日の食数700」	である。	シンジヨーが子供の頃から大好きなメニュー	今日の給食は、チキンカレーとグリル野菜	二〇七四年十月十日
							1	3	1	2	2	1	4	3							
							4	4	4	6	8	3	3	1							

「販売」の数とは、近くのコムピニに置か	てもらえれば販売すると、近いという仕組みだ。	予約をしておけば、午後四時までに取りに来	のため「予約」という制度を取り入れた。	をどうしても食べた人がいる。その人たち	り、来校できなかつたりするが、本校の給食	みである。配達する場所が決められなかつた	「予約」販売については、扇小独自の取り組	同じものを夕食に食べる人もいる。	子供が家族のために持ち帰る。中には、昼と	持ち帰りの食数もほぼ三十前後だ。職員や	校で勤めていた人もいる。	いる人や市役所に勤めている人、以前この学	来校者はほぼ三十人前後で、近くに住んで	のだそうだ。	の保護者は多い。「子供と同じ物を食べたい」	そして、本校児童の家族である。特に一年生	校の近くで働いている人。地域のお年寄り。	配達の内訳は、およそ三つに分かれる。学	を、シンジヨ―は思い出していた。	どのじゃんけんより本気だった、そんなこと	やんけんで競って食べた。あのじゃんけんは、	そういえば、子供の頃、休んだ子の分をじ	の約九割が、給食を利用して
---------------------	------------------------	----------------------	---------------------	---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------	----------------------	---------------------	--------------	----------------------	---------------------	--------	-----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	------------------	----------------------	-----------------------	---------------------	---------------

食	る	は	の	近		す	て	先	送	い	中		た		う	何	よ			な	い	で	で	せ
の	。	カ	検	く	本	。	い	生	を	た	に		。	小	学	も	り			い	値	も	、	せ
カ	カ	レ	食	に	日		る	は	し	。	放		そ	学	校	な	先			段	、	急	も	
レ	レ	ー	登	住	の		ん	、	た	。	送		の	生	な	か	に			で	捨	な	ら	
ー	ー	が	録	ん	検		で	一	シ	も	を		内	の	ら	っ	食			売	ず	欠	う	
が	が	出	者	で	食		す	番	ン	う	し		容	時	で	た	べ			の	に	席	数	
大	好	日	は	い	者		と	に	ジ	食	た		は	、	ら	、	の			で	済	や	あ	
好	き	に	十	る	、		教	食	ョ	べ	が		ま	他	、	の				、	む	早	る	
き	い	は	三	モ	シ		え	、	ー	た	、	っ	の	人	あ	あ				売	退	、	。	
な	う	、	人	リ	ン		て	安	の	ん	校		く	が	る	。				れ	よ	キ	こ	
の	だ	必	い	ト	ジ		く	全	友	で	長		覚	食	。				残	う	う	ヤ	れ	
だ	け	ず	る	さ	ョ		れ	か	達	す	先		え	中					る	に	な	ン	を	
と	で	検	が	ん	ー		た	ど	が	か	生		て	に					こ	っ	っ	セ	取	
、	は	食	、	で	と		こ	う	聞	。	は		い	放					と	た	。	ル	り	
以	な	に	モ	あ	副		と	か	く	、	食		な	送					は	ほ	か	が	入	
前	く	や	リ	る	校		を	確	と	一	べ		い	す					と	と	な	出	れ	
話	、	っ	モ	。	長		思	認	、	緒	終		。	る					ん	ど	。	た	た	
し	「	て	ト	扇	と		い	し	校	に	わ		あ	。					。	安	。	場	こ	
て	給	く	さん	小	、		出	し	長	放	っ		つ	あ					誰	。	合	と	と	

「よかつたら、応援に来て下さい。」	と、モリモトさんにも言いに来た。中には、	お願いします。」	い。体育祭の応援練習なんです。よろしく	きな声を出します。驚かないでください	「大きな声を出してすみません。少しだけ大	の所に回ってきた。	らくすると、その子たちは公園にいた人たち	この子たちは応援の練習を一度やめた。しば	になつた。周りの人が驚いたことに気づいた	サイクリングしていた人の一人は、転びそう	んや公園を歩いていた人が驚いてしまった。	援の練習を始めたことは何となく分かった。	えてきた。「フレイ、フレイ、おうぎ」。応	三周ほど歩いたとき、急に大きな声が聞こ	もいた。モリモトさんは公園を散歩していた。	読んでいた子もいた。モルツクをしていた子	ムをしていている子もいるし、デジタルブックを	六人ほどの子が公園に集まっていた。ゲー	と、扇小の四年生の子たちの話である。	ろい話を聞かせてくれた。一週間ほど前のこ	給食を食べながら、モリモトさんがおもし	くれたことがあった。
-------------------	----------------------	----------	---------------------	--------------------	----------------------	-----------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------------------	----------------------	------------------------	---------------------	--------------------	----------------------	---------------------	------------

